

第3代九州地方会会長挨拶

九州地方会30周年に際して

長崎大学 名誉教授 後藤 譲治
(第3代会長 平成4年4月～平成8年3月)



日本小児歯科学会九州地方会設立30周年、誠におめでとうございます。

私が長崎大学に小児歯科学講座の主任教授として赴任したのは1972年で、この年に日本小児歯科学会九州地方会は発足しました。あれから30年、思い出ふかいのは、3回の九州地方会を長崎で開催したことです。そして九州地方会も、回を重ねるごとに発展し、会員数も増加して盛況になったことです。他方、月日の経つのは誠に早いもので、現在では日本の少子化、高齢化の時代を迎えています。しかし、日本から子どもがいなくなることはありません。むし歯の罹患は減少しても、小児の育成を見守る小児歯科の重要性は多くの意味で益々増加しています。何よりも小児はこれからの日本を背負って立つ大切な、大切なお子様、日本の宝です。この小児がお口の病気で苦しむことなく、より美しく、より健やかに育ててほしいと願い、そのお手伝いをするのがわれわれ小児歯科医です。この情熱をいつまでも持ち続けたいと存じます。